

いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。さて、3月になりました。桃の節句、雛祭りです。男ばかりの3兄弟で育った僕は、子供の頃にはお雛様とは御縁がありません

でしたが、結婚して娘が生まれてからは毎年、自宅でお雛様にお会いしております。ただ、3月3日にお雛様を拝みながら白酒で一献！ってな生活にはなっておりません。税理士業という仕事からこの時期は繁忙期。スタッフともども、3月15日という明確な「期限」がある確定申告に取り組んでおります(今年は15日が土曜なの月で17日が期日です)。ところで、「期限」ってのを深く考えると、、、あれ、どうなんだろう？と実は知らないことに気づきます。例えばこの確定申告は3月15日の何時までなら大丈夫でしょうか？「税務署は17時で閉まるから17時まで？」「いや、電子申告はこの時期 24 時間受け付け可能だから15日の 24 時まで？」等、15日が期限というのも実は結構、曖昧な表現なんです。消費税の改正も同じです。4月1日から 8%に上がるといっても、これは実はもっと曖昧なことが多いのです。

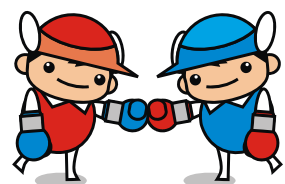
「3月中に注文を貰って、4月に出荷した場合は？」「3月に1年分の家賃を前渡した場合は？」「居酒屋で 23 時に入って 25 時に精算した場合は？」等、4月の初めは混乱必至です。何か分からないことがあれば、きしゅう会計にお気軽にお尋ねください。先ほどの確定申告期限の話ですが、電子申告の場合は3月15日の 24 時が期限です。紙の申告書の場合は、15日の 17 時でも、24 時でもなく、翌日、税務署の投函箱から職員が回収するまでにその箱に投函すれば OK です。

ただ、もちろん、申告はお早目に！ですよ。



① 娘の受験経過報告！

最終結果はまだですが、初めて子供の大学受験を傍でみていて色々と思うところがありました。最初に感じたことは「受験は本人の意思の強さが試される」ってことですね。「自分の意思」「担任の意見」「進路指導の先生の意見」「母親の意見(僕は娘と国交がないため省いております 笑)」それぞれ違います。センター試験が終わったあと志望校を決めるまでの期間、うちの娘、結構ふらふらしてましたねえ。泣いていることもあったし。母親と相談して決めた志望校を学校で先生に伝えると強烈に反対され、ひっくり返されさらにふらふらになって帰ってきたことも。結局、アドバイザー対決！「先生Vsうちの嫁」は前者がWinnerです。あっ、誤解しないでください



ね。僕は学校批判をしているわけではありません。揉めてもいいと思っています。

だって高校の先生は、先生の立場からの意見ですから、違う角度、違う景色で、違う内容でも当たり前。また意地悪で邪魔するようなことはないのです。そりゃ、本人や母親の思いとズレルこともありますよ。だって、試験は水物だし、未来なんて誰にも分からないのだから。大事なのは自分の意思。キャスティングボードは娘が握っているのだから、自分の意思と先生の意見が違う場合、最終的には「私の人生や！この学校にする！」と言い切れればいいのですから。それがしたくてもできないのなら、できない自分に問題があるわけです。このふらふらしてしまった経験で自分に欠けている何かを見つけたはず。最終の筆記試験というボスキャラの前に、準ボスキャラ

が先生であり、母親だったわけです(笑)。

「未来はひとつしか選択できない。だから大事なことで、自分で決めないといけない。」今回、この当り前のことを、娘の意思として貰ったかどうかは分かりませんが、この経験は今後いってくるはず。そんなこんなで受験した前期日程の筆記試験ですが、力はだせたようで終わって笑顔でした。あとは結果待ちです。でもまあ、ちょっと手強いボスキャラを選択したので、どっちに転んでもしかたないかなって感じですねえ。このボスキャラと対決できただけでもよくやったといってやりたいです。でも、国交がないため、それは叶わぬ願いです(-_-;)。

4月号で結果報告いたします！



② 初のフルマラソン(in 〇熊野)結果報告！

ちょっと古ですが、スター誕生の欽ちゃん風でお願いします！

「ばんざーい！ な・し・よ 」 です(^_^)



あきませんでした。初のフルマラソンはまるでだめ、23キロリタイアです。沢山の方々に応援

を頂いていたのに申し訳なかったです。敗因はいくつもありますが、要するに肉体的にも、精神的にも、フルマラソンにはまだまだ自分ということでした。ハーフマラソンはなんちゃってランナーでも走れますが、フルマラソンはなんちゃってではいかんかったということです。このあたりをつらつら話しても、面白くないので、ここはひとつ、気分を切り替えて、ぶっ飛んだランナーの話をする。愉快的気持ちになってください！

まずは、「マラソン中毒者」の著者、小野裕史さんです。たまたま知ったこの本、この人、強烈です。先ほど、「フルマラソンは手強い」といったばかりですが、そんなことを言っていること自体が、ばかばかしくなるような内容です。

みなさんご存知ですか？

「世界4大砂漠マラソン」を！？(@@



ゴビ砂漠、サハラ砂漠、アタカマ砂漠、しかも、250kmマラソン(@@そして、このうち2つを完走すると、出場権が得られるのが、4大マラソンのラスボスである、南極マラソン。100kmのウルトラマラソン

ってのがあってくらいは知ってましたが、砂漠や、北極、南極、しかも 250km。そんな過酷なレースがこの世にあるとは全く存じあげておりませんでした。(^^)

そしてこの小野さん、4大マラソンに全て出場、完走されています。中でもアタカマ砂漠マラソンでは、日本人3人のチームで参戦し優勝。世界の栄冠を手にとられています。また南極 100kmマラソンでは、個人戦で2位。(ちなみにフルマラソンのベストは 3 時間 15 分だそうです) あっ、それから南極の前には北極マラソンにも参加してはりました。しかも北極と南極は忍者のコスプレ姿で、ちゃんと忍者刀を腰に携えて、、、と何もかも、とんでもないスケールのお話です。

小野さんだけじゃなく、マラソンに参加していると、時々、変わった格好で走っておられる方をお見かけします。あれって、コスプレマラソンっていうちゃんとした名称、ジャンルがあったんですね。これも初めて知りました。小野さんは極寒地

のマラソンでなければ、普段はダイコンのコスプレみたいです。どうしてこんな恰好で走るのか？目立ちたいから？と思ってしまうのですが、小



野さんはこう言っています。「コスプレマラソンの何が良い

かって、スタッフや沿道の応援の人達はもちろん、周囲で走っているランナーも喜んでくれて、それを見るこっちまで逆にパワーをもらえるんだよ」なるほど、納得。僕もいつかチャレンジしたいなあ。ちゃんと強いランナーになってからね。今のままではだだの色物で終わってしまいますわ。そのためにも鍛えないといけませんね。

そうそう、東京マラソンのコスプレランナーを検索してみました。悟空もいれば、ベジータや



フリーザも走っています。写真にはありませんが、ピッコロも。ドラゴンボールシリーズの他、バットマン、ジョーカー、スーパーマンに、スーパーウーマンのアメコミヒーローシリーズ。その他、進撃の巨人、サンダーバード、聖闘士聖星矢、ルフィー、マリオなんて沢山走ってます。時代を超えて、国境を越えて本当に様々です。旬が変わったところでは、佐村○内氏(えーんかいな)などなど。

そして中でも一番強烈なのはこの方「十字架を背負ったキリスト」のコスプレ(海外ではキリストコスプレは結構多いらしい)。



この方、このスタイルで東京マラソン、今年で4年連続出場してはるとのこと。十字架の上の方についているゼッケンナンバーはゴールドなので、10万円エントリーの特別枠！(市民ランナーの川内君が有名になってから、マラソン愛好者が増えて、フルマラソンのエントリーは抽選で5倍10倍が当り前の世界になってるんです。そこで東京マラソンではどうしても走りたいランナーのために10万円でエントリーできる特別枠を1000人分用意している) 写真では分からないのですが、当然裸足です。そして驚くことなかれ、5時間強で完走しいるとのこと。ここまでくると、この人達からも「フルマラソンが手強い？何言ってんの大丈夫だよ」って声とパワーを頂けます。次はがんばって完走するぞー！！

さて、小野裕史氏の著書「マラソン中毒者」の内容に戻りますが、このハチャメチャで、ドMなレースの内容がテンポよく語られているのですが、ランナー同志の友情、ちょっと胸が熱くなり、涙がでそうになるシーンもあり、お奨めです。

事務所においでますので、読みたい方はお貸ししますよ(※但し、返してくれる方限定 笑)

小野さんってインドア派で、ずっと運動ゼロの生活をしてはったらしいのですが、35歳の時に痩せようと始めたWiiFitからはじけたそうです。そして気が付けば、砂漠や北極、南極を走っていたそうです。(考えずまず行動とのことです)

僕も砂漠や南極目指してがんばろうっと！

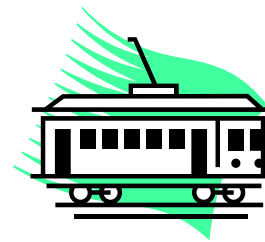
③ Facebook で見つけた伝えたい話 8

「親切の輪」

北海道新聞の切り抜きに、ある中年男性の投書がありました。

終電車の発車間際に切符なしで飛び乗り、車掌さんが回ってきた時に、切符を買おうと財布を出そうとしたが、財布がなかった。小銭入れもない。どこかで落としたのだろうか。途方にくれたけれども、そのことを正直に車掌さんに言いました。

「すみません。明日、必ず営業所まで行きますから、今日は乗せてください」



ところが、この車掌さん、よほど虫の居所が悪かったのかどうか、許してくれない。次の駅で降りろ、と言うのです。

次の駅で降りても家に帰る手段はない。

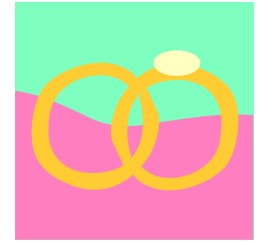
ホームで寝るにすれば、北海道の夜は寒すぎる。どうしようもなく困っていたら、

横に座っていた同じ年格好の中年の男性が回数券をくれたんです。お礼をしたいからと言って、その男性に名前や住所をたずねたけど、ニコニコ手を振って教えてくれない。最後は借りたことを忘れて、なぜ教えてくれないのかと文句を言ったら、次のような話をしてくれました。

「実は私もあなたと同じ目にあって、そばにいた女子高校生にお金を出してもらったんです。

その子の名前を何とか聞きだそうとしたけど教えてくれない。『おじさん、それは私のお小遣いだから返してくれなくて結構です。それより、今おじさんがお礼だといって私に返したら、私とおじさんだけの親切のやり取りになってしまいます。もし、私に返す気持があったら、同じように困っ

た人を見かけたらその人を助けてあげてください。そしたら、私の一つの親切がずっと輪になって北海道中に広がります。そうするのが、私は一番うれしいんです。そうするよ



うにって私、父や母にいつも言われてるんです』と私に話してくれました。」

※出典元:(心ゆたかに生きる 西日本新聞)

<名倉コメント>

なんて暖かく、現実的でメルヘンチックなお話でしょう。人に親切にされたらその人に返す。その人にだけお礼をする。これはいい話にはなりません。常識の枠の中で止まります。それでは世の中を暖かくできないし、広がりもありませんもんね。この話を聞いて、昔見た「母を訪ねて三千里」というアニメを思い出しました。主人公の少年マルコ(当時9歳)が、母を訪ねて旅をするのですが、道中大変な苦勞をします。思い出したのはその中の「イタリアの星」という酒場でのシーンです。ロサリオからコルドバへ行きたいマルコ。でもお金がなく途方に促されています。同郷のジェノバ人たちがマルコを助けようと皆でカンパを集めます。帽子にたまったお金を数えて、「ついたぞ！コルドバに！」マルコは感極まって言葉が出ません。その時に掛けられた言葉がこれ！

「『いいんだ、いいんだ…いつかお前さんも、何処かできつと今夜の恩返しをすることになる。』

子供の頃アニメで初めて泣いたシーンかも知れません。マルコ、素敵なアニメでしたね。

さて、現実に戻ります。確定申告の提出期限まであと2週間足らず。フルマラソンはダメでしたが、確定申告はスタッフともども、余裕をもって完走します！がんばります！p(^.^)q